

子どもの定期予防接種の種類と対象年齢

定期予防接種の種類	対象年齢など
ロタウイルス	ロタリックス：生後6週0日～24週0日まで ロタテック：生後6週0日～32週0日まで
ヒブ	生後2か月～5歳未満
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満
B型肝炎	1歳未満の人（接種が望ましい年齢は生後2か月～9か月未満）
ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ （四種混合）	（1期）生後3か月～90か月未満
BCG	1歳未満（接種が望ましい年齢は生後5か月～8か月未満）
水痘（水ぼうそう）	1歳～3歳未満
麻疹風疹 （MR）	（1期）1歳～2歳未満 （2期）小学校就学前の1年間にある人 （平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ） ※接種期間は令和4年4月1日～令和5年3月31日
日本脳炎 ＜注1＞	（1期）生後6か月～90か月未満（接種が望ましい年齢は3歳～4歳） （2期）9歳～13歳未満 ※2期の予診票は小学4・5年生に順次郵送予定です。
ジフテリア・破傷風二種混合（DT）	（2期）11歳～13歳未満 ※予診票は小学校6年生へ4月中に郵送予定です。
ヒトパピローマウイルス（HPV） 感染症【子宮頸がん予防】 ＜注1＞	小学校6年生～高校1年生相当の女子（ワクチンは約6か月間に3回接種） ※予診票は対象者へ順次郵送予定です。

＜注1＞積極的な勧奨の差し控えにより接種を逃した方へ、次のとおり無料接種の機会が設けられています。

【日本脳炎】

- 平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで20歳未満の人は、1期・2期ともに未接種分を接種できます。
- 平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれで13歳未満の人は、1期末接種分を接種できます。
※2期の予診票を高校3年生相当の人へ郵送予定です。（まだ予診票が郵送されていない高校2年生相当の人へは、高校3年生の時期に郵送予定です。）

【ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症】

- 平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女子は、令和7年3月31日まで未接種分を接種できます。
※対象者へは順次、案内を送付予定ですが、案内を待たずに接種を希望する人は、母子健康手帳を準備し、健康課へ連絡してください。